

# 9月20日の強風に対する農作物技術対策（事後対策）

令和5(2023)年9月21日  
栃木県農政部経営技術課

## I 共通

- (1) 破損した施設やビニール等は、速やかに補修する。

## II 野菜

### 1 いちご

- (1) 病害の発生が懸念されるため、予防的に登録のある殺菌剤を散布する。育苗期と本ぼで使用できる農薬が異なるので注意する。
- (2) 定植作業が大幅に遅れる場合は、苗の花芽分化を確認後、着果数の減少を軽減するため、追肥を行う。

### 2 アスパラガス

- (1) 草勢の回復を図るため、窒素、加里を10a当たり成分で各3～4kg施用する。
- (2) 病害の発生が懸念されるため、予防的に登録のある殺菌剤を散布する。

### 3 トマト

- (1) 病害の発生が懸念されるため、予防的に登録のある殺菌剤を散布する。
- (2) 茎葉に損傷がある場合は、損傷部位を切除し速やかに防除する。

## III 花き

### 1 トルコギキョウ

- (1) 損傷を受けた傷口から病害が入りやすいため速やかに防除する。
- (2) 損傷がひどく回復の見込みがない株は、速やかに植え替えする。